窓 開けて

2017年4月1日　第20号
障害者の社会参加、自立・就労支援

ＮＰＯ法人 活きる
〒302-0027　取手市本郷５－４－２１
TEL/FAX　0297-73-8361
（平日 10：00～15：00）
npo_ikiru@rainbow.plala.or.jp
http://www7a.biglobe.ne.jp/~npoikiru/
https://www.facebook.com/npoikiru

ご　挨　拶

理事長　染野　和成

まずは最初に日頃より当法人にこの一年間、多くの方々にご協力ご支援をいただき、法人の一年間の活動を無事に終えたことに心より御礼申し上げます。

昨年は当法人活動の内部に目を向けますと、イベントとして１０月に行われたバスハイクの復活をあげたいと思います。数年前までは年中行事の一つとして行われていましたが、借用できる福祉車両の減少と、車椅子利用者参加の人数が合わずに断念してきました。今年は会員仲間の福祉車両も使わせていただき、実施することが出来ました。目的地の茨城空港で百里基地での飛行機の離着陸の様子に個人的には大いに楽しむことが出来ました。その後、牛久シャトーへ赴き公園内のレストランにておいしい食事を堪能しました。

春に行われる「電車でＧＯ！」と違い、バスハイクは一般の交通機関を利用することなく、自宅から目的地まで多少の時間のずれも気にすることなく、みんなが楽しめるイベントと考えております。もちろん、運転していただく方の労力を忘れてはいません。

ほかに「電車でＧＯ！」や新年会等が全会員に向けたイベントとして定着し，実施して来ました。この詳細は会報内をご覧ください。

また楽しむイベントばかりではなく、障害者支援の立場からこれまで同様に市主催のイベントに参加したり、要請されて市の会議に出席もします。副理事長は遠くからの要請にも応え、東北にまで赴いています。このように当法人の立場も重要になってきつつあるようです。自覚を持ってこなしていきたいと考えています。

また移動サービスは少ない人数の運転ボランティアさんのおかげでサービス開始以来、事故もなく、毎月５００件以上をこなしております。運転ボランティアの方々には心より感謝申し上げます。これからはボランティアさんの人数の増加と、老朽化しつつある法人所有の福祉車両の増車を進めていく考えです。

一方、世間に目を向けると、昨年夏におきたおぞましい「津久井やまゆり園」での殺傷事件は強烈でした。私個人の話しではありますが、かつて栃木で知的障害者も仲間としてたくさん入所していた施設に暮らしたこともあり、生々しく心の中で想像出来てしまい、それもまたショックな瞬間でした。

いまだに５０年前と同じ「障害者は在ってはならない存在」という考えがあると思うと、悲しくもあり怒りも覚えます。

我々の力は微々たるものですが、これからも自分らの存在を世間に主張しながら活動していきます。皆様のご協力、ご支援をお願いしてごあいさつとします。

ご存知ですか？
健康保険で在宅マッサージが受けられます！
お問い合わせ、ご相談などお気軽にご連絡ください。
オリエンタル治療院
〒301-0041　茨城県龍ヶ崎市若柴町 2183-9　TEL 0297-65-0985　FAX 0297-65-3323

●障害者（児）ボランティア入門講座●

社協主催のボランティア講座の初日（３回）は身体障害者の支援で宮脇が講師を勤めました。

まず、ボランティアの世界に入ったきっかけから理事長の染野と知り合って障害のことを勉強し、ＮＰＯ法人活きるを設立して活動を始めたことを聞いてもらいました。

その後、実技として車椅子の介助とベッド⇔車いすの移乗介助の技術を見てもらいました。

受講者はたった８人でしたが皆さん明るく積極的だったので楽しい講座になりました。
ひとりでも多くの方が協力してくれることを期待します。

／みやわき

～チャレンジの広場～

「チャレンジの広場」として、活動を開始して三年が経ちました。障害の有無に関わらず沢山の方に参加していただいています。競技内容では、パラリンピックの正式種目でもあるボッチャに興味を持って参加される方が多く、終わると楽しかったという感想が多く聞かれます。また、チャレンジの広場の全体でも笑いが増え、参加者同士の交流と情報交換の場に活用されていると思います。今後も、地域の障害者スポーツの普及と情報交換の場に活用していただけるよう、チャレンジの広場の競技内容の充実に努めていきたいと思っていますので、たくさんの皆様のご協力ご参加をお待ちしています。

最後に、毎回協力していただいている関係者の皆様に、厚くお礼申し上げます。

代表　勝山博行

※※※

♪ Lico コンサート

平成２８年１１月１３日

今回はちょっと変わった音楽を提供しました。

Licoさんとギター奏者のチャーリー高橋さん、そしていろんな笛を持ってきてくれた近藤治夫さんをお迎えしてブラジル音楽を中心に演奏していただきました。そして、戸頭のはこカフェのペヤングさんには音響機器をお借りし、パーカッションも担当してもらいました

ボサノバなどラテン音楽はとても楽しい気分にしてくれます。　そして、面白かったのは松尾芭蕉の俳句をオリジナルの曲に載せて歌ってくれました。なかなか味のある曲になってとても面白かったです。ハスキーボイスのLicoさんはグルービーな気分になり、迫力のあるギターもエキサイティングです。　そして、いろんな珍しい笛は非常に興味深かったです。

生の音楽は迫力があって、いいもんです。来年もこのような機会を提供します。

※※※

◇◆◇バスハイク◇◆◇

平成２８年１０月１２日

これは、車いすでは普段なかなか行けないところへ自動車で行くイベントです。　しかし、平成２２年のバスハイクを最後にこのイベントは中断していました。　その理由は藤代庁舎の福祉車両が廃車になったことと車椅子会員が増えてみんなが参加できなくなることで平等感が問題になると思われました。

今年再開した理由は、「電車でGO」だと行けるところに限りがあることと、宮脇所有車が車椅子二人乗りに更新したことで以前と同じ状況になったことです。行き先は茨城空港と改修を終えたシャトーカミヤです。

社協車と宮脇車に分乗し、９時過ぎに交流センター前を出発。　１０時過ぎに茨城空港に到着。　茨城空港を選んだ理由は、以前の展望デッキは一部のガラスが加工されていて自衛隊機が見えないようになっていたのですが、今はそれがなくなり自衛隊の様子が全貌が見れます。　男どもはそれを期待したのです。展望デッキではたっぷりと自衛隊機の離着陸訓練を見学し、ちょっと時間オーバー！　あまり時間に縛られないのもバスハイクの魅力です。

次の目的地のシャトーカミヤに向かいました。かなり到着が遅れ、予約していたレストラン・キャノンで午後２時の遅いランチになりました。

レストランはちょっと緊張するような雰囲気です。　予約したテーブルにはフルコースのセッティングがされています。　全員、テーブルに着いて飲み物とデザートを選択したら、オードブルから運ばれてきました。　次々と飲み物、スープ、メイン、デザートとランチなのに本格的なコース料理を堪能しました。なんと2,000円。　内容を考えると超お得です。

満腹になったところで園内を散策。　お土産を買ったり、改修を終えた神谷傳兵衛記念館などを見て回りました。　ちょっと、予定時間をオーバーしたけど、特に時間に制約はないのでのんびりと帰路につきました。

久しぶりのバスハイクでちょっと段取りの悪さは有りましたが、十分に自由な移動ができる楽しみを得ることができました。　今回の経験を活かして、来年もぜひ実行したいと思っています。

※※※

活きるの楽ちん介護

（介護技術勉強会）

ＮＰＯ法人活きるでは定期的に介護技術勉強会を開催しています。もう３２回になります。この勉強会は運動機能障害の方を介護する際に介護者が腰や腕など負担のない技術を覚えてもらって介護が嫌にならないように、そして、介護される方も安全で寝たきりにしないで少しでもベッドから放れて豊かな人生を送ってもらえるようにすることが狙いです。主に立ち上がりの介助とベッドと車いすの間の移乗介助の方法を先生が楽しく解説してくれます。また、介護の場面で難しい事案などがあったら、先生を始め経験豊かな介助者がみんなで考えて、少しでも楽な方法を考えたりします。平成２９年度からは会場や講師の都合がつかない場合を除いて、開催日を毎奇数月の第３日曜日に固定して参加しやすいようにします。大きな目的は在宅介護をしている介護家族の負担を減らし、悲しい事故を防ぐと同時に当事者が少しでも楽しい時間を持ってもらうことです。

ありがとう

ご寄付

運転ボランティアさんから　２０，０００円、
１２，０００円、
３０，０００円、
２０，０００円、
文具、コーヒー、お茶、コピー用紙など消耗品多数、

渡辺タマさん　３０，０００円、
有賀絵理さん　５，０００円、
野口隆之さん　８，０００円、
ダンススポーツ連盟　２０，０００円、
オリエンタル治療院　３０，０００円他多くの差し入れ、
桑原さん　１０，０００円、
山田長政さん　玉ねぎ約３００個　売上６，０００円

◇　高次脳機能障害について　◇

平成２８年１１月４日

ネットワーク主催の障害をテーマにした勉強会で宮脇が高次脳機能障害に付いてお話してきました。

前半は高次脳機能障害の基本的な知識と一般的な対応に付いて、そして後半はひとつの臨床例として妻の宮脇満理子の発症から今に至るまでの経過と変化を聴いてもらいました。

高次脳機能障害は１００人居れば１００通りの症状があります。ひとつのサンプルでは物足らないのですが症状が多岐にわたるのでわかりやすい症例だと思います。

専門的なサイトや資料は多くありますが実例の経験値に勝るものはないと思います

※※※

◆移動サービス（福祉有償運送）◆

　ＮＰＯ法人活きるは約１０年、体が不自由で移動が困難な方たちの外出支援をしています。
この活動は国土交通省が定めた道路運送法７９条の福祉有償運送という制度の中で運営しています。お金を頂いて送迎するので必要書類を整えて登録する必要があります。対価にも規定がありタクシー運賃の半分を目安にします。そして、協力ボランティアは国土交通省の認定講習会を受講しなければなりません。

　運営はかなり大変で収入もさることながら、一番大きな問題は担い手となるボランティアさんの不足です。取手市では社会福祉協議会が運転者講習会を開催してくれています。他地域は年に２度笠間へ行く必要があります。　その点取手は恵まれていますが年に１回だとなかなか受講が難しいのです。（２９年度からは２回の予定）　受講しても協力してくれる方は非常に少ないのが現状です。　超高齢化社会になり需要はどんどん増えていて、現在利用登録は３００人を超えています。利用件数は月に５００件ほど。反面、運転ボランティアは減る一方でその上高齢化していて、継続の危機に面してます。　そして、利用者の重症化も進んでいて福祉車両の需要も増えています。　今、ＮＰＯ法人活きるには車椅子対応者は１台しかなく、利用者さんに不便をかけないためにはあと１台は必要です。

運行状況報告書

団体名（ＮＰＯ法人活きる）

対象月	実利用者数（人）	実運転者数（人）	延べ送迎回数（回）	送迎料金（円）
平成28年4月	134	10	520	536,800
5月	129	12	510	536,600
6月	146	10	607	614,500
7月	145	10	547	551,500
8月	126	10	522	510,800
9月	136	14	507	501,600
10月	133	12	508	509,600
11月	127	11	523	527,600
12月	137	12	526	538,800
平成28年1月	119	12	429	457,000
2月	127	13	499	501,400
3月				
合　計			5698	5,786,200

実利用者数は、その月に1回以上利用した利用者の実人数です。
実運転者数は、その月に1回以上運転を行った方の実人数です。
延べ送迎回数は、基本的に片道を1回として積算しています。
送迎料金は、利用者から利用料金として乗車時徴収(券回収)した金額です。

　市民の移動の権利を保証するには辞める訳にはいきません。　今年、市担当部、社会福祉協議会、運営２団体と継続させるための検討会を設置しました。　経済的な問題とボランティア確保、この活動を市民に周知してもらう方法を考え、解決する努力をします。　皆さんのご理解とご協力を期待します。
（講習会の開催は取手市広報に掲載されます。６月ころに開催予定）

地域包括ケアシステム

　生活支援は介護保険に頼らずに地域で助け合いしましょう、という国の方針でスタートしています。
　ヘルパーさんなどは慢性的に人材不足で、専門性が必要な支援の難しい身体介助などに従事してもらいたいというのが目的です。
　そのシステムを構築するための協議体を設置されました。その第２層協議体の初会合に参加しました。
　地域で助け合うのはとても重要で必要なことですが何と言っても担い手の確保が問題です。
　この部分には、どんな役割があるかを市民に周知させるために行政が力を尽くしてもらいたいと思います。

電車でGO！

平成２８年６月１日

今回の参加者は総勢１４人、そのうち車椅子利用者は５人です。電動車椅子は４人です。

浜松町でトイレ休憩。貿易センタービル内のバスターミナルにある多目的トイレには折りたたみベッドが設置されていました。

浜松町駅から東京タワーまで１．４ｋｍ。上り坂が多く途中芝の増上寺の脇をゆっくり歩いて３０分位かかったでしょうか。東京タワーに到着。展望台にエレベーターで昇りました。絶好の行楽日和で東京の街が一望できます。昔は日本一高い建造物だったのに、今では周囲に高いビルがいっぱい。展望台の１，２階をゆっくり見学して二時半にロビーに集合です。　おむつ交換が必要なので事前にメールで確認したら医務室のベッドを使わせていただけるとのこと。お願いすると丁寧に地下の医務室に案内されベッドを貸していただきました。

ロビーで記念の集合写真をスタッフの方に撮ってもらいました。帰りは日比谷線の神谷町駅から帰ることにしました。浜松町よりは近かったかな。　ところがエレベータ修理中との看板が！　近くの人に聞いたら違う入り口に車いす用の昇降機があることを聞き、そちらに向かいました。　なんと、今は懐かしいエスカル（階段昇降機）です。初めて利用するメンバーもいました。北千住で乗り換えて取手についたのは１７時でした。

今回も大きな問題もなく楽しい１日を過ごせました。交通のバリアフリーは問題はなくなりましたが、多くの車いすが同時に電車を利用するときの対応や効率に問題があるように感じました。　今後の課題です。　「電車でＧＯ」は単なる遠足ではなく公共交通機関の問題点や利便性を学習し、問題提起することも、障害者団体としての大事な活動です。今後も長く継続していきます。

編集後記

活きるの活動の報告誌として本誌で 20 号となり、近年では年１回発行になりました。行事や活動が多彩になり、編集にも苦労しているところです。活動にたずさわるメンバーも皆さん元気で１年過ごすことができたましたことは喜ばしいと思います。また来年も多くの報告をできることを楽しみにしています。

編集担当　鈴木 澄利

平成２９年　４月　１日発行

発行所　NPO 法人　活きる

発行者　染野 和成

編集者　鈴木 澄利

連絡　〒302-0027　取手市本郷５－４－２１

TEL/FAX　0297-73-8361

npo_ikiru@rainbow.plala.or.jp

http://www7a.biglobe.ne.jp/~npoikiru/

https://www.facebook.com/npoikiru

活動会員・賛助会員を募集しています

一緒に NPO 法人活きるの活動に参加してみませんか

皆様のご参加をお待ちしています。

活動会員　個人・年会費　２，０００円

団体・年会費　３，０００円

賛助会員　個人・年会費１口 1,000 円　１口以上

団体・年会費１口 2,000 円　１口以上

（活動・賛助会員の総会議決権はありません）

振込先

・郵便振替　　００１９０－７－７７８９４８

口座名義　「特定非営利活動法人活きる」